

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 5年 5月 29日

学校名 川西中学校

校長氏名 田中 典子

1 今年度の目標(学校の約束)

- ①川西地区の歴史・文化・豊かな自然や地球環境について学習します。
- ②学校で水や電気などの資源を大切に使います。
- ③地域と連携し、清掃活動やリサイクルに努めます。

2 取組内容

①環境学習

- ・川西地区の豊かな自然環境や歴史的資源・文化遺産について学習します。

②省資源・省エネルギー

- ・使用していない教室や廊下、トイレなどの照明をこまめに消します。
- ・節電、節水に心がけるよう、掲示物で呼びかけます。
- ・プリントを印刷する時は必要な枚数を確認し、できるだけミスプリントをなくします。また、裏面を最大限利用し、紙の使用量を減らします。

③地域との連携

- ・PTA や地域と連携して資源回収を実施します。
- ・学校生活や学校行事ではゴミをきちんと分別し、ゴミの量が少なくなるように工夫します。
- ・地域の行事にボランティアとして参加し、積極的に企画・運営に関わります。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

③の地域との連携では、コウノトリ餌場整備や地域活性化会議などのボランティア活動を通し、地域の担い手として企画・運営に関わってさまざまな世代の方々と協働することで、他者や社会とのつながりを深め、主体的に活動する態度を育成する。(多様性・連携性・責任性)

福井市学校版環境ISO 実施報告書

学校名 <h1>川西中学校</h1>	
1 今年度の目標 (学校の約束) ①川西地区の歴史・文化・豊かな自然や地球環境について学習します。 ②学校で水や電気などの資源を大切に使います。 ③地域と連携し、清掃活動やリサイクルに努めます。	
2 取組内容 ①環境学習 ・1年生の総合的な学習の時間では、「川西 PR 大作戦」をテーマとして、川西地区の歴史・文化・自然について生徒が興味をもった課題で調査を行いました。また、写真や資料を基にお互いの調査結果と考察を発表したり、新聞・CMづくりを行ったりしました。学年全体で川西地区の自慢できる点や問題点について理解を深めることができました。 ・情報科学部の活動では、学校付近の河川に生息する水生生物を採集し、理科室の水槽で飼育をしました。メダカやエビなどの飼育を通して、生徒は生命を大切にする意識や多くの生命を育む自然について考えを深めることができました。また、生徒は生き物への興味をもって積極的に採集を行うとともに、水質調査や河川のまわりのゴミを自主的に拾うなど、環境を保全する意識をもって活動することができました。  地域文化・自然に関する取材  水生生物の採集	
②省資源・省エネルギーの取組 ・エアコンを稼働する時刻・順番を決めて、明示しました。 集中制御盤の隣に稼働開始時刻を記入するボードを設置し、稼働状況を一目で把握できるようにしました。多数台が一度に稼働しないように全員が意識するようになりました。 ・デマンド値が設定値を超えることが予想される場合に、電力会社から管理職や事務職員にメールで連絡されるシステムが導入されました。メール連絡があったのは、夏場の1回だけでしたが、このメールを受信して迅速に対応した結果、設定値を超えることはなく、省エネルギーに貢献できました。 ・印刷物依頼メモを活用するなど、印刷を担当する学校運営支援員へ確実に印刷サイズや枚数が伝わるようにし、無駄になる資源の削減に努めました。	

③地域との連携 リサイクル活動とボランティア活動

- ・地域の方々やPTAと連携して校区全域における資源回収を実施し、資源のリサイクルを推進しました。
- ・「まごころボランティア」として日用品を集め、地域の福祉施設に届けました。
- ・「全校ボランティア」として、生徒たちが下校途中に落ちているゴミを拾い集め、校区の美化に貢献しました。活動を通して、生徒は「自分たちが住む地域を自分たちできれいにできた」と喜びを感じていました。



資源回収



まごころボランティア贈呈



全校ボランティア

★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

①の地域の水生生物採集とゴミ回収を通して、生徒は自分たちが地域自然の保全をこれから担っていく一員であると自覚することができました。水生生物の飼育を行う中で生命を尊重することの大切さと、そのために自分ができることは何なのかを考え、お互いに話し合うことができました。

③の資源回収および各ボランティアを通して、生徒は保護者や地域の方々との交流から川西地区で生きる一人として地域の力になる喜びと意義を改めて感じるすることができました。

【具体的効果】

- ①地域の自然環境について体験を通して深く学ぶことを通して、川西地区の環境を大切に守っていこうとする意識、地域を愛する心や誇りが育ってきています。
- ②生徒・職員とも節電・節水・省資源を心がけています。また、学校運営支援員の活用によって、印刷の効率化や省資源化が図れています。
- ③生徒が積極的に地域に関わって地域を良くしようとする姿を見て、地域の方々からの賞賛や、協働活動への参画依頼も増えています。

3
見直し

【改善点】

- ・地域を大切にする活動をさらに進め、保護者や地域に積極的に取組の様子を広報して、地域全体で環境や文化に対する意識を高められるようにします。
- ・地域の生き物に関する調査をさらに進め、今回の河川以外の場所においても生物（魚類や水生昆虫、藻などの植物）の調査を行い、理科の授業と関連を図りながら、より広い視点から考察していきたいです。
- ・コピー利用料だけでなく、水道や電気の利用料の変化も「見える化」して、節水・節電に努めていきます。
- ・これからも地域と協働する活動を続け、一緒に活動する地域の方々が増えていくような手立てを考えていきます。